



紫縮地流水鯉模様単衣
江戸～明治時代・19世紀



白縮地萩蜻蛉模様帯
大正～昭和時代・20世紀



ガラス製灯籠型酒器
江戸時代・19世紀



四季風景模様扇
明治時代・19世紀

ごあいさつ

今年も日本の四季の中でも活気にあふれた夏がやって参りました。「夏」と聞きますと、照りつける暑い日差しを感じるのもさることながら、花火大会、七夕、海水浴、お祭りなど様々なイベントを思い浮かべます。昔の日本でも花火大会や七夕はもちろんのこと、舟遊びや蛸狩りなど、現代でも続く様々な夏の楽しみ方があり、日常生活で着用する小袖や着物においても、季節を楽しむ心がそれに表現されていました。

本展覧会では、江戸時代から昭和初期の作品を中心にご紹介していきます。江戸時代の作品では、武家女性・公家女性の着用していた絹縮や麻の小袖。明治時代から昭和時代初期にかけての近代の作品では、主に一般女性が着用した着物を中心に展示しております。また、子どもが着用していた愛らしい夏の着物にも注目です。そのほかに、着物を彩った櫛や簪などの装飾品も合わせて展示します。

生地の色合いや素材を工夫し、夏を感じさせるモチーフをあしらうことによって、日本女性たちはどのように涼しさを演出し、夏を楽しんでいたのかにご注目ください。

会期中のイベント

① 講演会

「夏のきものー日本女性はきもので夏をどう楽しんだかー」

6月23日(土) 14時～15時30分

講師：長崎 巖 (共立女子大学博物館長)

会場：2号館 701号室

申込不要。

② ギャラリートーク

当館学芸員が作品の解説をします。

7月6日(金)、7月24日(火) 12時30分から(20分程度)

12時30分に展示室入口にお集まりください。

交通アクセス

- ・東京メトロ半蔵門線 都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅下車 A8 出口から徒歩 1分
- ・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 1b 出口から徒歩 3分



共立女子大学博物館

Kyoritsu Women's University Museum

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2号館地下1階
電話：03-3237-2665 <http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/muse/>